

平成 18 年度第 3 回図書館協議会会議録

日 時 平成 19 年 2 月 23 日（金）午後 1 時 30 分～4 時 00 分
場 所 図書館 3 階保育室
出席委員 菊地委員長 倉田副委員長 三門副委員長 浜口委員 今村委員
伊藤委員 小茂田委員 河永委員
欠席委員 松田委員 寺島委員
川西教育長
事務局 齋藤図書館長 林主査 （横田図書館室長）
傍聴者無し

1 開 会 三門副委員長

2 委員長挨拶

3 教育長挨拶

4 議 事

議事録署名委員の指名 小茂田委員 河永委員

報告事項

事務局 資料に基づき説明

① 千葉県図書館協議会答申について

参考資料①

抽象的で、具体性には欠ける内容ではあるが、このような答申が出されているので報告する。

② その他

- ・ 三井つくし文庫が、2月24日生涯学習センターにて、市民文化奨励賞を受賞する。
- ・ 南初富保育園への図書の配本を三月から実施する予定であり、4月以降全保育園へ拡大していきたいと思っている。
- ・ 鎌ヶ谷西高等学校への貸し出しについて、先日取材があり、明日（2/24）発行の「船橋よみうり」に掲載予定である。

報告事項についての意見・質問

委 員 保育園では、4月から保護者へも貸出をするのか。

事務局 状況を見極めて、実施していく。

委 員 貸出冊数はどのくらいか。

事務局 30冊位から実施する予定である。

委 員 中央児童センターも図書の貸出を受けて置いてあるが、受け入れ先の管理体制によるところが大きい。

委 員 ブックスタートから、児童センター・保育園へと繋がっていったらうれしい。

委員 児童センターには、図書を購入する予算が無いということなので、寄贈された本が置いてあるだけである。

事務局 現在、まなびいの男女共同参画センターにも、図書を貸し出し中である。

委員 男女共同参画センターの拠点ができ、そこに図書館からのバックアップがあるということは良いことである。

委員 最近、図書の出前がすごい。

事務局 今まで、図書館は待ちの体制であったが、現在の社会情勢から、委託会社にも無理を言って、地域の拠点に届けて活用していつている。なぜ、そうするのかというと、夕張市のケースで公共施設のうち、図書館だけが閉鎖された。その理由は、図書館と地域や施設がつながっていないからである。当市もそうならないように色々な活動を進めていきたい。

委員 学校司書の方より、希望の図書を用意してもらえるのは良いのだが、最寄りの分館までしか運んでももらえない。学校まで持ってきてもらえるとありがたいとの要望があった。

事務局 学校では、少なくとも1日1回は教育委員会に事務連絡で行っているのので、その際に図書館に寄ってもらうこともできるのではないか。

委員 毎日の配本の途中で、学校に寄るのはそれほど負担ではないのではないか。

事務局 学校サイドでは、図書を実際に見て選ぶことを望んでいる。

委員 図書の流通方法について、図書館や学校・教育委員会を含めて検討できるといいのではないか。

委員 図書館側で、そのような意見を受け止めてもらって、つぎの議題に進みましょう。

委員長 出前が多くなると、また状況が変わってくると思うので、そのときにあらためて検討をしたい。

協議事項

事務局 資料に基づき説明

①平成19年度図書・視聴覚資料収集計画（案）について

鎌ヶ谷市図書館資料収集基準に基づいて、年度ごとの収集計画を立てている。

一般書については、書店で手に入りにくい郷土行政資料等を主に収集したい。児童書については、子ども読書活動の推進に配慮し、総合的学習にも対応した収集を心がける。又、共通した方針として、今日的課題やテーマの具体的な例として、一般書では現代的課題となっている団塊の世代に関する図書、裁判員制度等について積極的に対応する。来年度予算は、1900万円を予定しており、約1万冊位購入予定であるが、実質的な増加数は6

千冊位である。これは、年間汚損・破損等4千冊くらいを除籍しているためである。今年度約275千冊程度の蔵書となる予定であり、これは県内の図書館の平均に近い数字である。

委員長 特に異論がないので次の議題に。

②平成19年度図書館事業（行事）案について

前回、協議頂いた平成19年度図書館運営方針に基づき事業を計画した。

- ・レファレンスについては、窓口を設定した結果従来3,000件、昨年5,000件だったが、今年度は10,000件位に増加している。
- ・インターネットサービスの導入に向けて努力している。
- ・今年度図書館開館20周年を迎えるので、20周年記念事業を計画し、まなびいネットワークの協力のもとに実行委員会を作った。
- ・図書館ホームページを有効活用し、普及啓発活動を充実していく。

委員 開館は20年だが、図書館の始まりはいつからか。

事務局 昭和48年教育委員会の中に設置され、昭和52年市庁舎の移転に伴い旧市庁舎の後に設置、昭和62年に現在の図書館が開館となった。

委員 20年以前のものも「あゆみ」として加えて欲しい。

委員 講演会では、手話通訳をして欲しい。

事務局 状況に応じて検討する。

委員 長期休館の短縮について

事務局 現在、蔵書点検のため10日間休館しているが、もう少し短縮していく方向で検討中である。

委員 子供の読書活動推進計画の中に放課後児童クラブの記載が無く、担当課に申し入れをした結果、図書館の団体登録をした。今年1月の指導員研修の中でこども課長が放課後児童クラブにおいて読み聞かせ活動を進めると言っていたので、図書館の読書活動推進指導者研修の通知を児童クラブにもお願いしたい。

委員 ボランティアへの呼びかけが地味である。対象等、幅広くお願いしたい。

委員 学校の現状を指導者研修等で聞いた。活動しているのは、ボランティアで先生は動いていないというのが見えてきた。

事務局 学校は学校図書館法で、図書館は図書館法と、別々に制定されている。同じにはならない。市川や袖ヶ浦は学校のシステムの中に図書館の資料を巡回貸出をしている。

委員 法的な枠組みから出て、予算や人の不足を補って欲しい。

委員長 現状が見えてきた。答えはわかっている。学校に司書がいればいい。指導者研修を続けて欲しい。

委員 研修を広く呼びかけて欲しい。

事務局 まなびいで、来年度からボランティア研修を行う予定である。図書館

でも 20 周年事業でネットワーカーさんに依頼したが、その他の活動にも参加するという希望もあるので少しずつ広げて行きたい

委員長 読みなさいと言うのではなく、読みたいという気持ちになってもらうことが大切。

委員 市民サービスの向上について、利用者あらゆる立場の方へのサービスをお願いしたい。録音図書の利用等を進めて欲しい。今後の取り組みをお願いしたい。

事務局 障害者（弱者）へのサービスについて、計画には入っていないが、郵送サービス等の検討をしていこうと思っている。他市で行っている宅配サービスなども取り組んでいきたい。

委員長 インターネットサービスについて、19 年度内の導入とあるが、いつごろになるのか。

事務局 市長復活まででしたが、当初は無理であったので 9 月補正で要求し、できれば 1 月開始をめざしたい。

委員 絵本リストの作成を要望する。

委員長 20 周年事業の一つとして、大人の語りを「おはなしのつばさ」で図書館と共催で行いたいけどどうだろうか。

事務局 ありがたいことである。

委員 図書館ボランティアについて、県立西部図書館でボランティア講座を実施しているが、図書館がどんなものかという体験講座を実施してみても良いと感じた。

委員長 以上、本日の議事事項は終了します。

5 閉 会 倉田副委員長

会議録署名人署名

以上、会議の経過を記載し相違のないことを証明するため次に署名する。

平成 19 年 3 月 13 日

氏 名 小茂田 茂

氏 名 河永 光代